

高橋 篤史 講師 (大阪大学理学研究科・教授)

談話会	<p>6月11日 (月) 16:00～</p> <p>「オービフォールド射影直線のミラー対称性」</p> <p>複素代数幾何学・シンプレクティック幾何学・表現論という一見異なる三つの数学が、一つの数学の異なる実現であるように思える現象がある。少し具体的に述べると、三種類の数学的対象に対してそれぞれ自然な方法で代数的三角圏を構成できて、それらが「偶然」三角同値となる現象がある。また、それぞれにFrobenius構造を構成できて、それらが「偶然」同型となる現象がある。これらが「偶然」でではなく「必然」であることを理解したいと思っている。この講演では、これらの現象について、最もよく理解されている対象を例にとって解説を行う。</p>
講義期間 ・ 題目 ・ 内容	<p>6月12日(火)～6月15日 (金)</p> <p>15 : 00～18 : 00</p> <p>「孤立超曲面特異点のミラー対称性」</p> <p>孤立超曲面特異点のミラー対称性を題材として、圏論的考え方も取り入れた、代数幾何学および数理物理学を解説する。</p> <ol style="list-style-type: none">1 位相的ミラー対称性2 指数の集合の変分3 行列因子化4 ホモロジー的ミラー対称性5 オービフォールドヤコビ環
場所	川井ホール